

平成 30 年度働き方改革委員会活動成果報告 「ワクワクする働き方改革の実現に向けて」講演会 開催報告



令和元年 10 月 11 日(金)15 時から17時まで、日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8F において、「ワクワクする働き方改革の実現に向けて」と題し平成 30 年度働き方改革委員会活動成果報告を開催した。参加者は JISA 会員を中心に約80名。はじめに、JISA 副会長・平成 30 年度働き方改革委員会 福永哲弥委員長 (SCSK(株)取締役専務執行役員)から挨拶があり、その後以下の講演が行われた。

「IT エンジニアにとってのワクワク醸成要因(調査結果)」

みずほ情報総研(株) 社会政策コンサルティング部 雇用政策チーム
シニアコンサルタント 小曾根由実氏

担当プロジェクトに対する楽しさ・やる気をもとに IT エンジニアの「ワクワク感」を 6 カテゴリーに分類し、どういったエンジニアが「ワクワク感 MAX」なのかを分析した結果を報告した。またワクワク感を生じさせる仕組みについても説明された。



「ワクワクする働き方を実現するためには(詳細分析)」

同志社大学 大学院 総合政策科学研究科
教授 中田 喜文氏

楽しさ・やる気に将来への期待等を加味した「ワクワク度」は何によって決まるのかを明らかにするため、個人属性や経営要因、労働条件、職場環境等を分析した。その結果として、経営理念や能力発揮といった要素がワクワク度向上に対し大きなインパクトを持つことが説明された。



(會木)